

I 一般的な財務状況の説明

1) 資金収支計算書

資金収支計算書とは、学校法人の各年度における諸活動をお金の動きに着目して表したものです。教育研究に対する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）が明らかにされています。

令和4年度における主な施設・設備関係支出は、新潟食料農業大学での造成工事や新潟医療福祉大学での校舎新築ならびに備品等の取得などが主なものとなっております。翌年度繰越支払資金は昨年度比121百万円、2.3%の増加となりました。

2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書とは、経営状況を表すものであり学校法人会計基準において「当該会計年度の教育活動、教育活動以外および臨時的な収支ならびに基本金組入額を表示し均衡の状態を明らかにするために行う」と規定されております。

令和4年度は、新潟医療福祉大学における既存学科定員増（令和3年度健康スポーツ学科定員増）による学生生徒等納付金の増加を要因として教育活動収入計が昨年度比で246百万円、3.1%増となりました。

支出の見直しなどを行い基本金組入前当年度収支差額は昨年度比で266百万円、36.6%増と順調に進んでおります。

3) 貸借対照表

貸借対照表とは、一定時点(3月末現在)の財産の状況を明らかにする計算書類であり、教育研究活動を行うために必要となる資産の保有状況とそれらの資産の取得源泉である負債、基本金および消費収支差額を対照して、その充足状態を計る仕組みです。

令和 4 年度は、新潟食料農業大学駐車場等造成工事や新潟医療福祉大学第 11 研究実習棟の建築ならびに備品等の取得を行い、昨年度比で資産は 1,624 百万円、5.3%増、負債は 629 百万円、8.4%増となり、純資産は 994 百万円、4.3%増加いたしました。

なお、流動負債のうち、1,385 百万円は新入生からの授業料等の前受金であり、新年度には学生生徒等納付金として収入に振り替えたうえで教育研究活動の費用に充てられていくものです。学校法人会計基準により負債へ計上していますが、弁済義務のあるものではありません。